

中学校区におけるめざす子ども像 **自らを律し、自ら学び続ける子**

令和8年度 重点目標 「生徒、保護者、地域の『信頼に応える』魅力ある学校づくりの推進」 (1)学力向上 (2)不登校生対応 (3)特別支援教育 (4)ICTの活用力向上 の4本を柱に教育活動を推進する

「確かな学び」の現状
 ・全体的に、生徒は落ちついた学校生活を送り、静謐な環境で学びに向かっているが、一部生徒が集中できない時もある。
 ・「学力向上」は喫緊の課題である。授業中に理解できても家庭学習の時間が少ないため定着しない。「学習動画コンテンツを活用した学習支援」のモデル校に指定されたので、本授業を活用し、自ら進んで学びに向かう姿勢を育む。
 ・習熟度別指導や、学力定位層の放課後学習などを充実させる。

「豊かな心・健やかな体」の現状
 校区が1小学校1中学校であり、人間関係が固定的になる傾向がある。そのことに起因する要素もあり、不登校傾向の生徒もみられる。誰一人取り残さない学びを推進し、不登校生の居場所を確保のためステップルームを設定して、学びの場を保障する。
 また、各種行事への取組を充実させ、成功体験を積み重ね、達成感を味わわせることで自尊感情を高める。
 家庭・地域との連携を図り、健康的な生活習慣の確立をめざす。

大項目	小項目	具体的目標	具体的な取組 (●重点とする取組、 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～11月)		達成状況(年度末)	
							自己評価	学校評価者評価		
確かな学び	基礎学力の向上	学習内容の定着と学習習慣の確立	●基礎学力の定着を図り、各種調査での下位層の生徒の割合を減らす。 生徒が自主的に計画を立て、家庭で復習や課題に取り組むための家庭学習支援	各調査での正答率20点未満の生徒の割合を大阪府の平均以下にする。 各種アンケート調査での肯定的回答が70%以上、	全国学力調査等の調査結果	年度末				
	授業改善	生徒が主体的に考える授業を展開し、思考力・判断力・表現力を育成する	授業において、意見を交流したり自分の考えを発表したりする機会を設定する。 数学科の少人数指導を充実させ、きめ細かい指導により言語活動を展開する。 生徒用端末を活用した主体的な学習を展開し、問題発見力・課題解決力を育成する。	各種アンケート調査での肯定的回答が70%以上、 ・各調査結果で大阪府平均以上 ・「数学の授業がよくわかる」の肯定的回答が85%以上 堺市学習・生活状況調査において肯定的回答が80%以上	・堺市学調 ・堺市学習 ・生活状況調査 ・チャレンジテスト ・学校教育アンケート					
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	規範意識を育み、他者と協力してよりよく生きるための力の育成	道徳の授業を充実させ、生徒の規範意識の向上を図る 生徒が主体的に計画し、協力して取り組むことができる行事の設定 成功体験を積み重ね、生徒の自己肯定感を高める	各種調査での肯定的回答が90%以上 各種調査での肯定的回答が90%以上 各種調査での肯定的回答が90%以上	不登校調査	年度末				
	生活習慣の改善	基本的な生活習慣の確立	「家での7つのやくそく」を基本にして、生徒が安全や健康について考える機会を充実させる 誰一人取り残さない学びを推進し、ステップルームを開設する。	・生徒会・衛生委員会の啓発 ・各種調査での肯定的回答が85%以上 年間欠席30日以上の子を減少させる						
地域連携	小中連携	小中一貫した指導体制の充実	★1小1中の強みを生かした小中連携の推進	各種アンケート調査での肯定的回答が80%以上	学校教育アンケート	年度末				
	地域協働	地域・家庭への情報発信との協働体制の充実	HPや「八下TIMES」を通じて教育活動の現状や成果を発信。地域や家庭と協力した取組を進める。	ホームページへのアクセス数 各種調査70%以上、	学校教育アンケート					

校長より(年度末):

学校関係者評価者から(年度末):